

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果より

我孫子市立湖北台西小学校

平成26年4月22日実施 6年生71名 (5名欠)

- ◎学力について 問題A：主に「知識」に関する問題
問題B：主に「活用」に関する問題

○国 語

- ◇国語A 「話すこと・聞くこと」に比べ、「読むこと」「書くこと」が苦手な傾向がある。
- ◇国語B 記述式の問題が苦手で、無回答率が高いものも多い。

○算 数

- ◇算数A ・加法、乗法、除法の正答率が高い。
 - ・分数の大小、体積の単位に関する正答率が高い。
 - ・単位量あたりの大きさ、立体図形などの問題の正答率が低い。
- ◇算数B ・無回答率が高く、あきらめてしまう姿勢がうかがわれる。
 - ・理由ややり方を説明する設問など、記述式の問題の正答率が低い。

国語、算数ともに**記述式の問題の落ちこみが目立つ 深い読み取りができていない**

◎学習状況について

よかった項目

- 寝る時刻、起きる時刻は比較的規則正しい面が見られる。
- 学校生活での悩みを教師や友達に相談すると答えた児童が比較的多い。
- ものごとを最後までやりとげて、「うれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」答えた児童が多く、比較的意欲的に取り組んでいる。
- 授業中わからないことがあると先生や友達に尋ねると答えた児童は全国平均を上回り、わかりたいという意欲は高い。
- 算数は好きと答えた児童が多く、算数に関して意欲的である。

課題の残る項目

- △「朝食をあまり食べていない、食べない」児童が約10%いる。
- △「自分には、よいところがある」と考えている児童、「自分のよいところを認めている」児童が少ない。自己肯定感が低い。
- △「将来の夢や目標を持っている」児童が少ない。
- △テレビやテレビゲームの携帯・スマホにかける時間が長い児童が多い。
- △学習習慣、家庭学習の時間が少ない。宿題への取り組み、予習・復習に取り組む割合も高いとはいえない。
- △読書に取り組む時間が少なく、図書館の利用も少ない。
- △家の人に学校での出来事について話をしない児童が多く、保護者の学校行事への参加についても全国平均を下回る。
- △新聞やニュースへの関心は低い。

◎調査結果から今後の取り組みについて

*** 「書く力」の向上が重要課題と考え、まず「読みとり」の力をつけることを目指して
言語活動に重点を置いていく**

- 国語，算数の基礎学力定着を引き続き図っていく。(算数の少人数指導の継続，充実)
 - ・「西っ子チャレンジ」(数と計算の60枚プリント)「国語タイム」(読みとりプリントなど)をさらに充実させていく。
- 読書習慣を付け，読解力を高めていく。(月に4冊・朝読書・図書室・図書館の活用)
- 話す力，コミュニケーション能力の向上を図っていく。
- 総合的な学習の時間を充実させ，探求力向上を目指す。(ICTの活用・地域に目を向ける学習・キャリア教育)
- 自分で取り組み，やりとげる経験を積ませ，さらに自己肯定感を高めていく。

*** 生活習慣の改善を図っていく。**

- 家庭学習の習慣付け
- 「早寝、早起き、**朝ごはん**」

ご家庭でもご協力の程，よろしく申し上げます。